

ご近隣の皆様

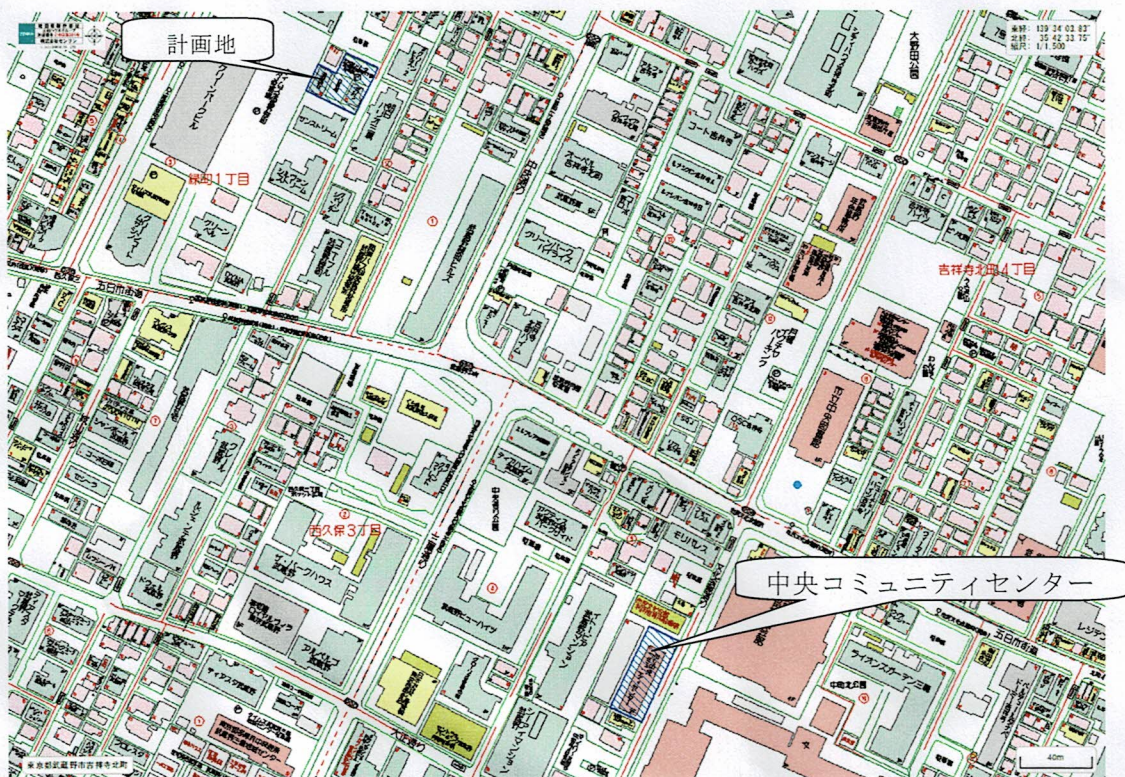
説明会のお知らせ

地域の皆様には大変お世話になっております。

この度、武蔵野市緑町 1 丁目 761-7（下記案内図参照）にて開発事業を計画しております。開発事業の実施に当たり、下記の通り武蔵野市まちづくり条例にもとづく説明会を実施させていただきます。近隣の皆様には計画に際してのご理解とご協力を賜ればと存じますので、ご多用とは存じますが、ご出席下さいます様お願い申し上げます。

事業概要・説明会の概要

事業名称	（仮称）武蔵野緑町 1 丁目計画 新築工事
事業位置	武蔵野市緑町 1 丁目 761-7（下記地図参照）
事業者氏名	医療法人社団 静産会（せいさんかい） 理事長 大橋 涼太
事業者住所	静岡県静岡市駿河区聖一色 441-1
説明会開催日時	6 月 9 日（金）18:00～（開場 17:45～） 6 月 10 日（土）10:30～（開場 10:15～）
説明会開催場所	中央コミュニティセンター（住所：武蔵野市中町 3-5-17 下記地図参照） ※本説明会は主に建物計画に関することです。工事については、現時点では詳細が未定の為説明の対象外です。



※会場に駐車場が無い為、当日は徒歩または自転車でお越し頂きます様お願い致します。

※裏面につづきます。

説明会后、ご不明な点につきましてはご連絡下さい。ご質問やご意見に対して回答させていただきます。

なお、特にご意見がある方につきましては、武蔵野市まちづくり条例に基づき、事業者に対して意見書を提出することができます。意見書を送付していただく場合には、確実性を期すため、必ず簡易書留等をご利用ください。

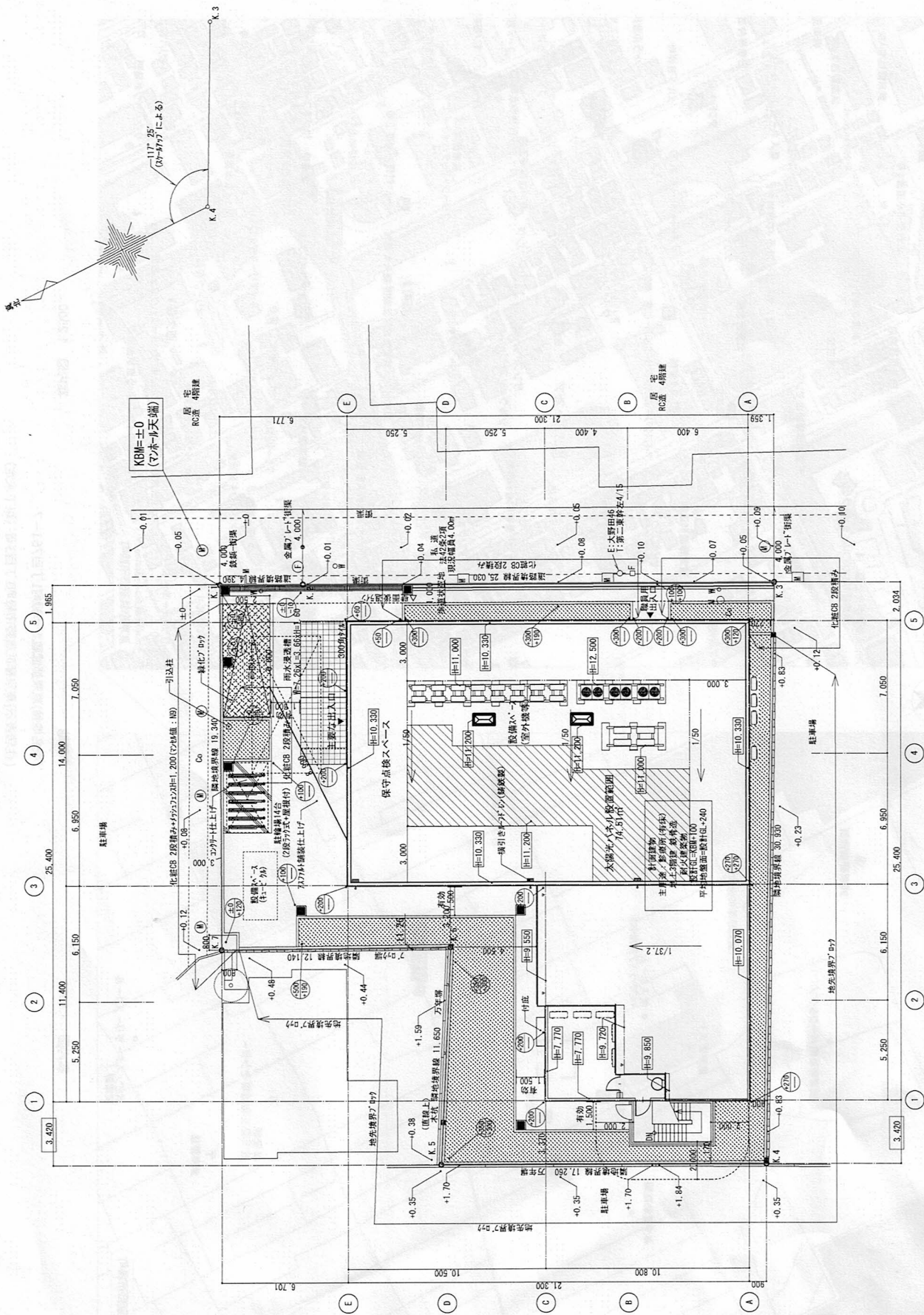
なお、説明された内容でご了解頂いた場合には、改めて意見書を提出する必要はございません。

意見書の提出期間 6月24日(土)まで(当日消印有効)

意見書の提出先 東京都立川市泉町 935-28

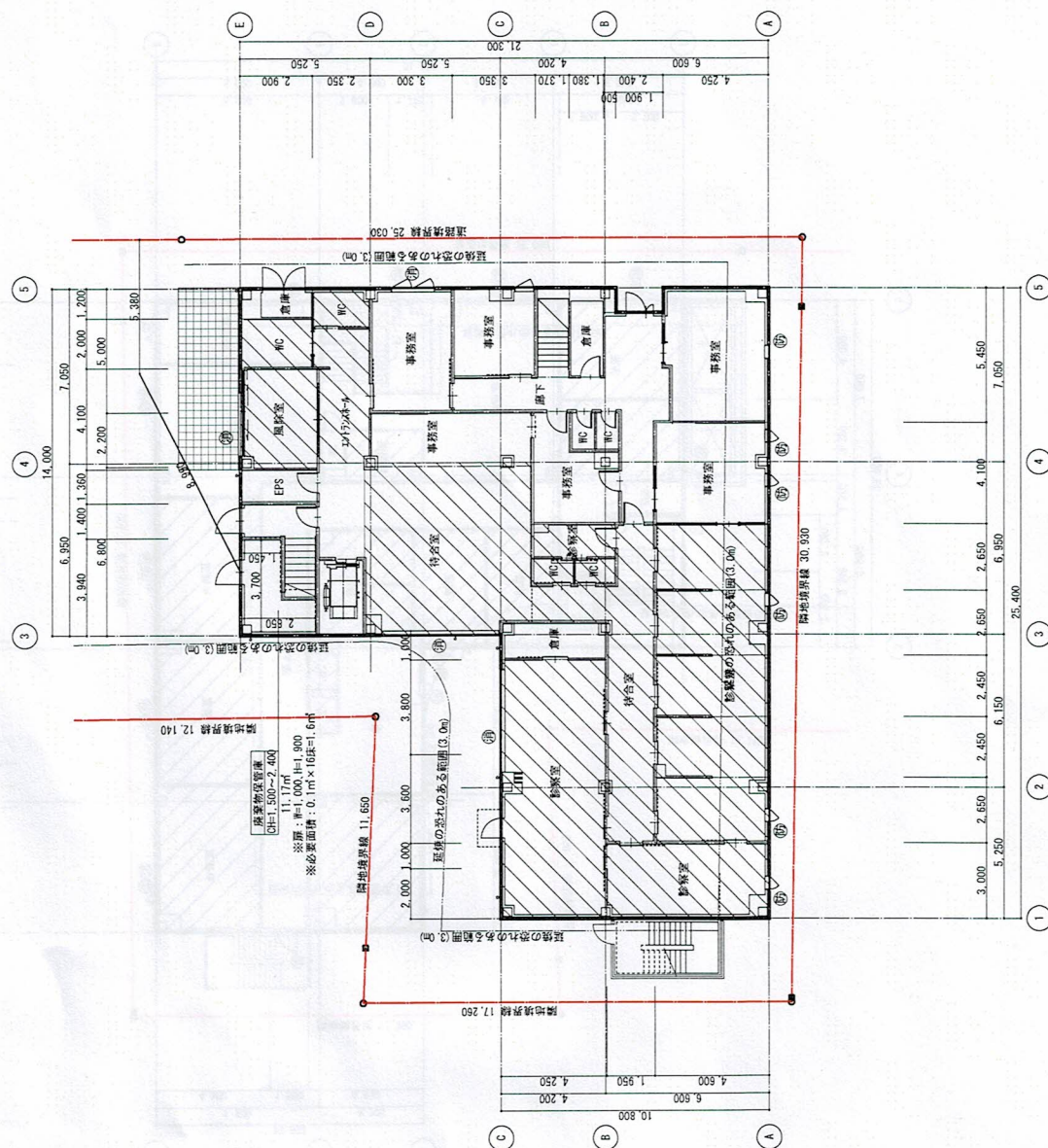
大和ハウス工業株式会社 東京西支店

武蔵野流通店舗営業所 尾野 宛て (TEL : 042-525-1822)



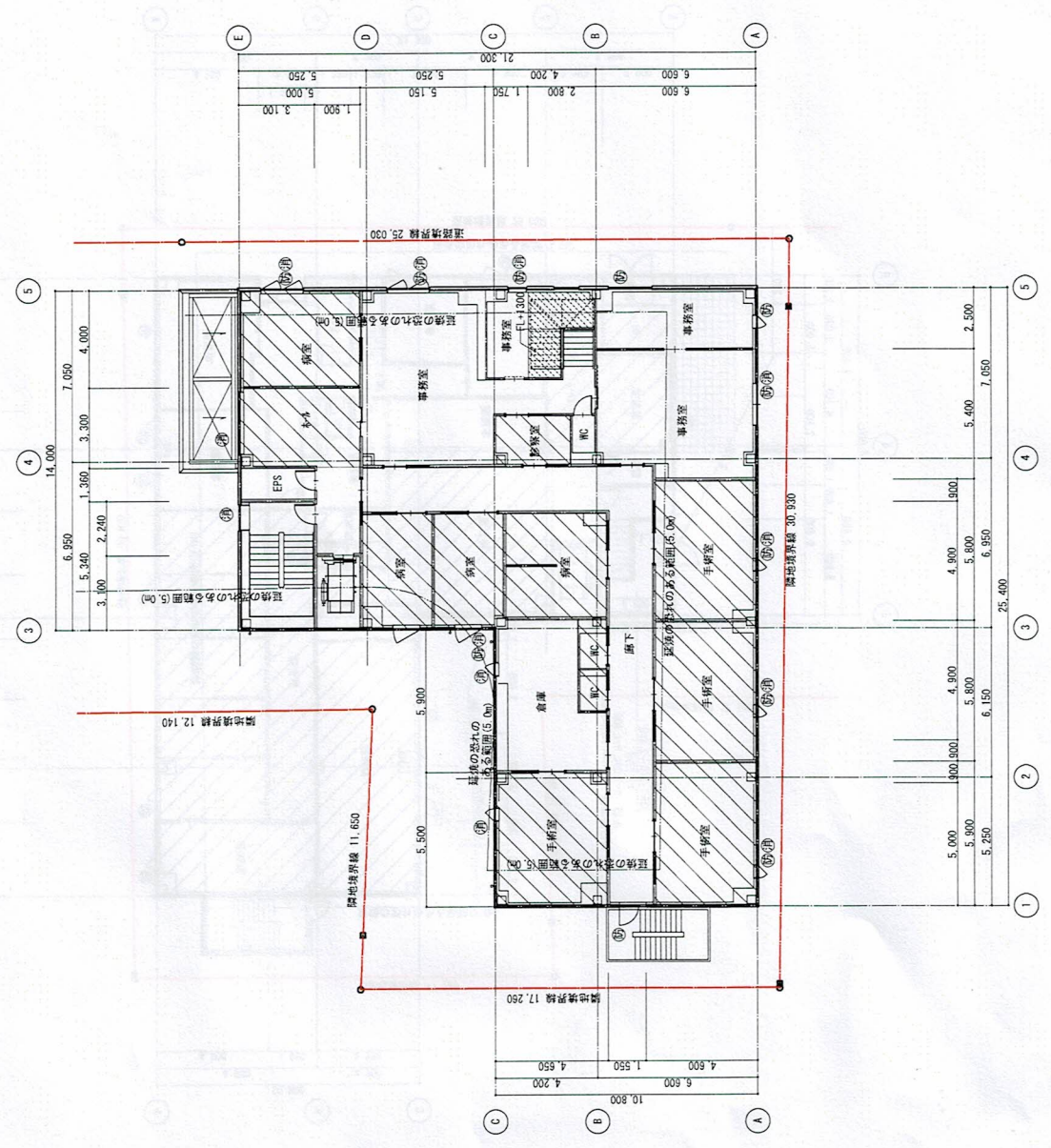
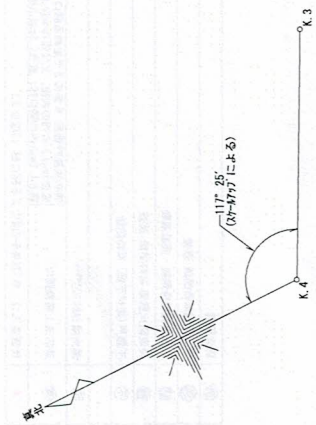
凡 明 配置基準を示す。
 西側隣地境界線から車行に3,500の所で1通りを定める。
 K4より900をA通りとする。
 (A) 計画A: 敷地はK4からの高低差を示す
 (B) 現況B: 敷地はK4からの高低差を示す
 (C) K4からの高低差を示す
 (D) 平均地盤面からの建物高さを示す。

配置図 (A1 S=1:100, A3 S=1:200)
 ※駐輪場設置 必要台数
 対象面積: 660.56㎡
 必要台数: 660.56÷45=14.87
 14台 ... 計画台数14台 :OK



⑤	防火設備	
⑥	防火設備常時閉鎖 連続	
⑦	防火設備常時閉鎖・緊急運動	
⑧	特防火設備 常時閉鎖 連続	
⑨	不燃戸（素材不燃）常時閉鎖	
⑩	消火器（ABC10型）	
⑪	消火法上有防烟口	消火法施行規則 5条の2で定める開口部 防煙地区上の目的の内外、又は開口部上を 高さ1.2m以上の開口部、直管0.5m以上の内接
▲	非常出入口・金126号6-2項による開口部（3階以上）	

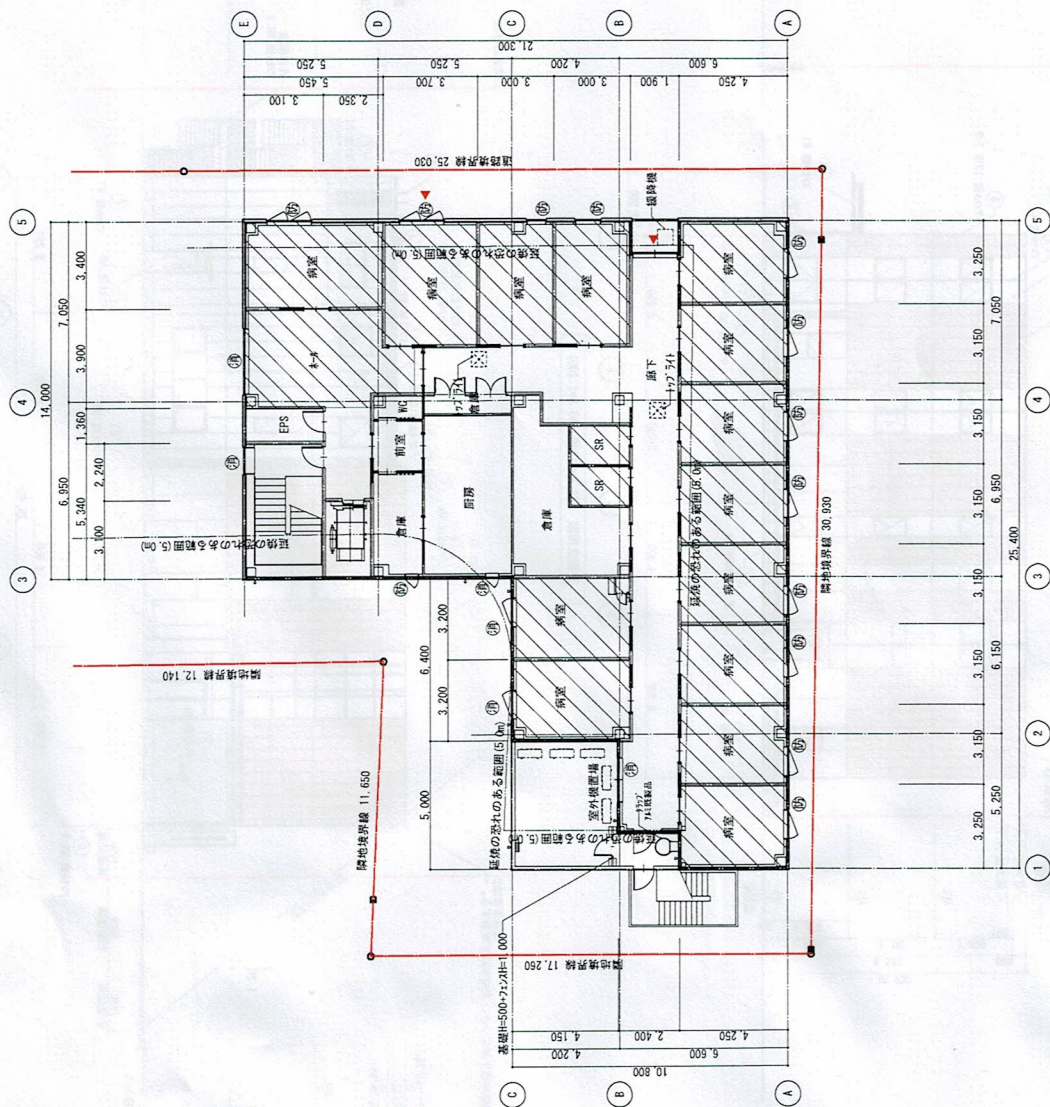
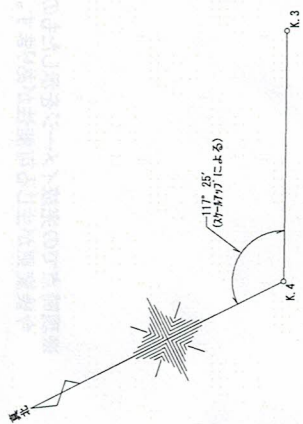
1階平面図 (A1 S=1:100、A3 S=1:200)



駐輪場設置対象...194.48㎡

防火設備	
防火設備常時閉鎖・避難	
防火設備常時閉鎖・避難	
特定防火設備 常時閉鎖・避難	
不燃戸 (面材不燃) 常時閉鎖	
消火器 (ABC10型)	
消防法施行規則 5条の2で定める開口部 直径10cm以上の開口部、又は幅15cm以上 高さ1.2m以上の開口部、直径0.5m以上の内径	
代替出入口：市125条6-2項による開口部 (3階以上)	

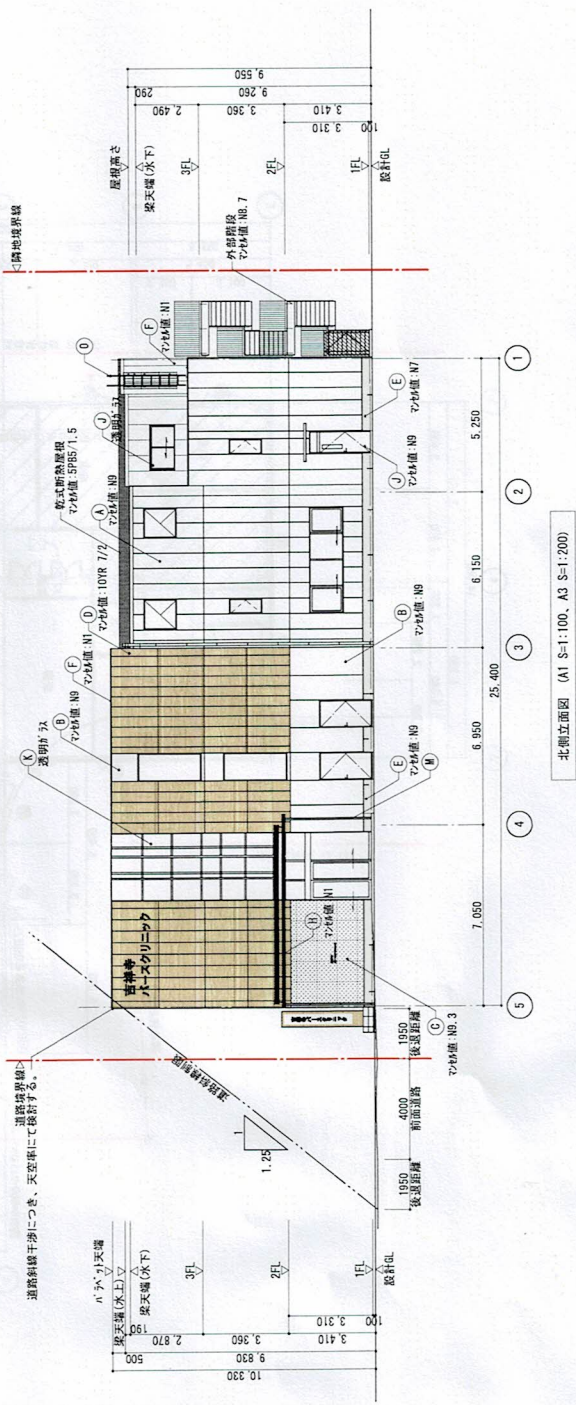
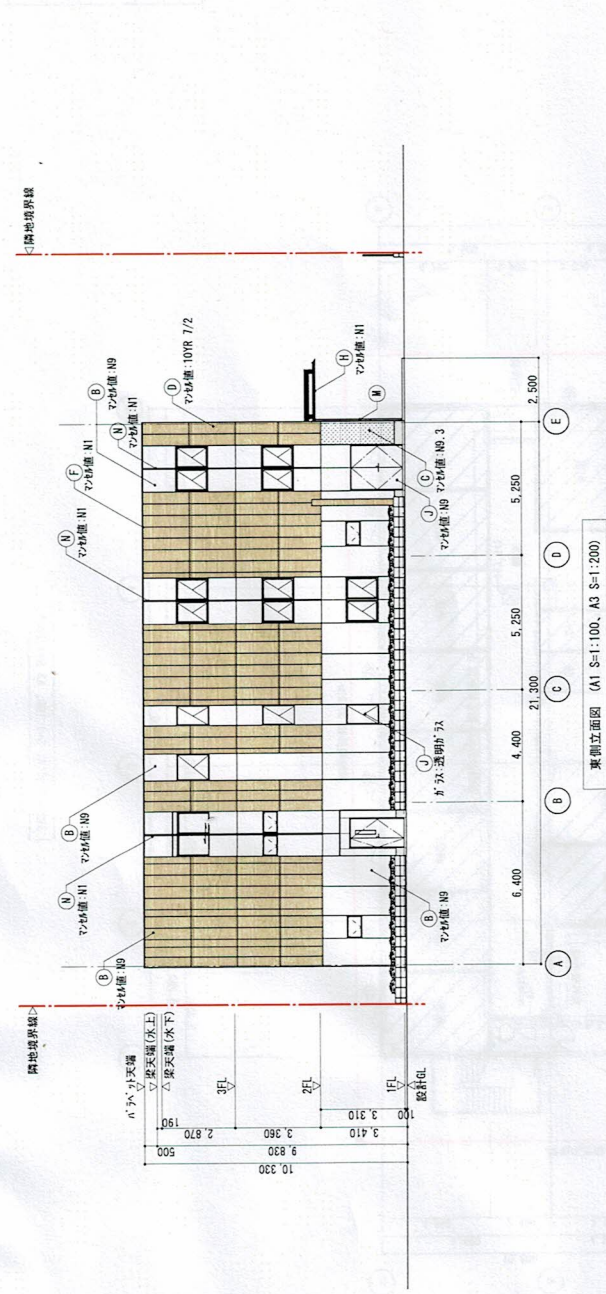
2階平面図 (A1 S=1:100, A3 S=1:200)



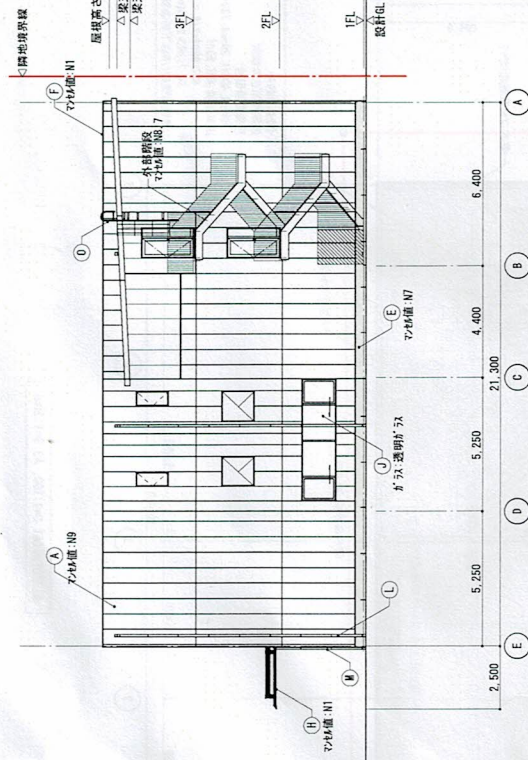
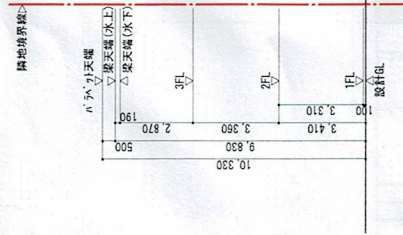
駐輪場設置対象---234.77㎡

①	防火設備 ※遮断入りガラス
②	防火設備 ※遮断入りガラス
③	防火設備 ※遮断入りガラス
④	防火設備 ※遮断入りガラス
⑤	防火設備 ※遮断入りガラス
⑥	防火設備 ※遮断入りガラス
⑦	防火設備 ※遮断入りガラス
⑧	防火設備 ※遮断入りガラス
⑨	防火設備 ※遮断入りガラス
⑩	防火設備 ※遮断入りガラス
⑪	防火設備 ※遮断入りガラス
⑫	防火設備 ※遮断入りガラス
⑬	防火設備 ※遮断入りガラス
⑭	防火設備 ※遮断入りガラス
⑮	防火設備 ※遮断入りガラス
⑯	防火設備 ※遮断入りガラス
⑰	防火設備 ※遮断入りガラス
⑱	防火設備 ※遮断入りガラス
⑲	防火設備 ※遮断入りガラス
⑳	防火設備 ※遮断入りガラス
㉑	防火設備 ※遮断入りガラス
㉒	防火設備 ※遮断入りガラス
㉓	防火設備 ※遮断入りガラス
㉔	防火設備 ※遮断入りガラス
㉕	防火設備 ※遮断入りガラス
㉖	防火設備 ※遮断入りガラス
㉗	防火設備 ※遮断入りガラス
㉘	防火設備 ※遮断入りガラス
㉙	防火設備 ※遮断入りガラス
㉚	防火設備 ※遮断入りガラス
㉛	防火設備 ※遮断入りガラス
㉜	防火設備 ※遮断入りガラス
㉝	防火設備 ※遮断入りガラス
㉞	防火設備 ※遮断入りガラス
㉟	防火設備 ※遮断入りガラス
㊱	防火設備 ※遮断入りガラス
㊲	防火設備 ※遮断入りガラス
㊳	防火設備 ※遮断入りガラス
㊴	防火設備 ※遮断入りガラス
㊵	防火設備 ※遮断入りガラス
㊶	防火設備 ※遮断入りガラス
㊷	防火設備 ※遮断入りガラス
㊸	防火設備 ※遮断入りガラス
㊹	防火設備 ※遮断入りガラス
㊺	防火設備 ※遮断入りガラス
㊻	防火設備 ※遮断入りガラス
㊼	防火設備 ※遮断入りガラス
㊽	防火設備 ※遮断入りガラス
㊾	防火設備 ※遮断入りガラス
㊿	防火設備 ※遮断入りガラス

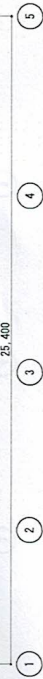
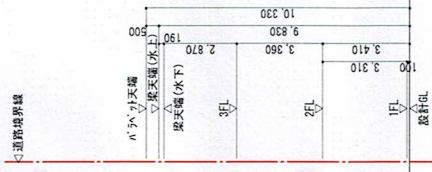
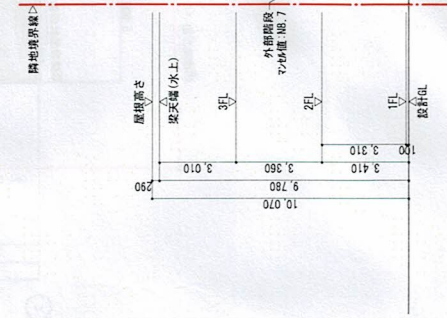
外 部 仕 上	
(A)	外壁 ALC板 t=100(40mm厚 断熱工法)の上 珪藻土塗料仕上
(B)	外壁 押出成型ポリレン t=60の上 珪藻土塗料仕上
(C)	外壁 デザインカラーレン t=12.5下地の 上 珪藻土塗料仕上
(D)	外壁 珪藻土レン t=12.5下地の 上 珪藻土塗料仕上
(E)	外壁 珪藻土レン t=12.5下地の 上 珪藻土塗料仕上
(F)	外壁 珪藻土レン t=12.5下地の 上 珪藻土塗料仕上
(G)	外壁 珪藻土レン t=12.5下地の 上 珪藻土塗料仕上
(H)	外壁 珪藻土レン t=12.5下地の 上 珪藻土塗料仕上
(I)	外壁 珪藻土レン t=12.5下地の 上 珪藻土塗料仕上
(J)	外壁 珪藻土レン t=12.5下地の 上 珪藻土塗料仕上
(K)	外壁 珪藻土レン t=12.5下地の 上 珪藻土塗料仕上
(L)	外壁 珪藻土レン t=12.5下地の 上 珪藻土塗料仕上
(M)	外壁 珪藻土レン t=12.5下地の 上 珪藻土塗料仕上
(N)	外壁 珪藻土レン t=12.5下地の 上 珪藻土塗料仕上
(O)	外壁 珪藻土レン t=12.5下地の 上 珪藻土塗料仕上



※現時点での完成イメージを示したものであり、今後変更が生じる可能性があります。

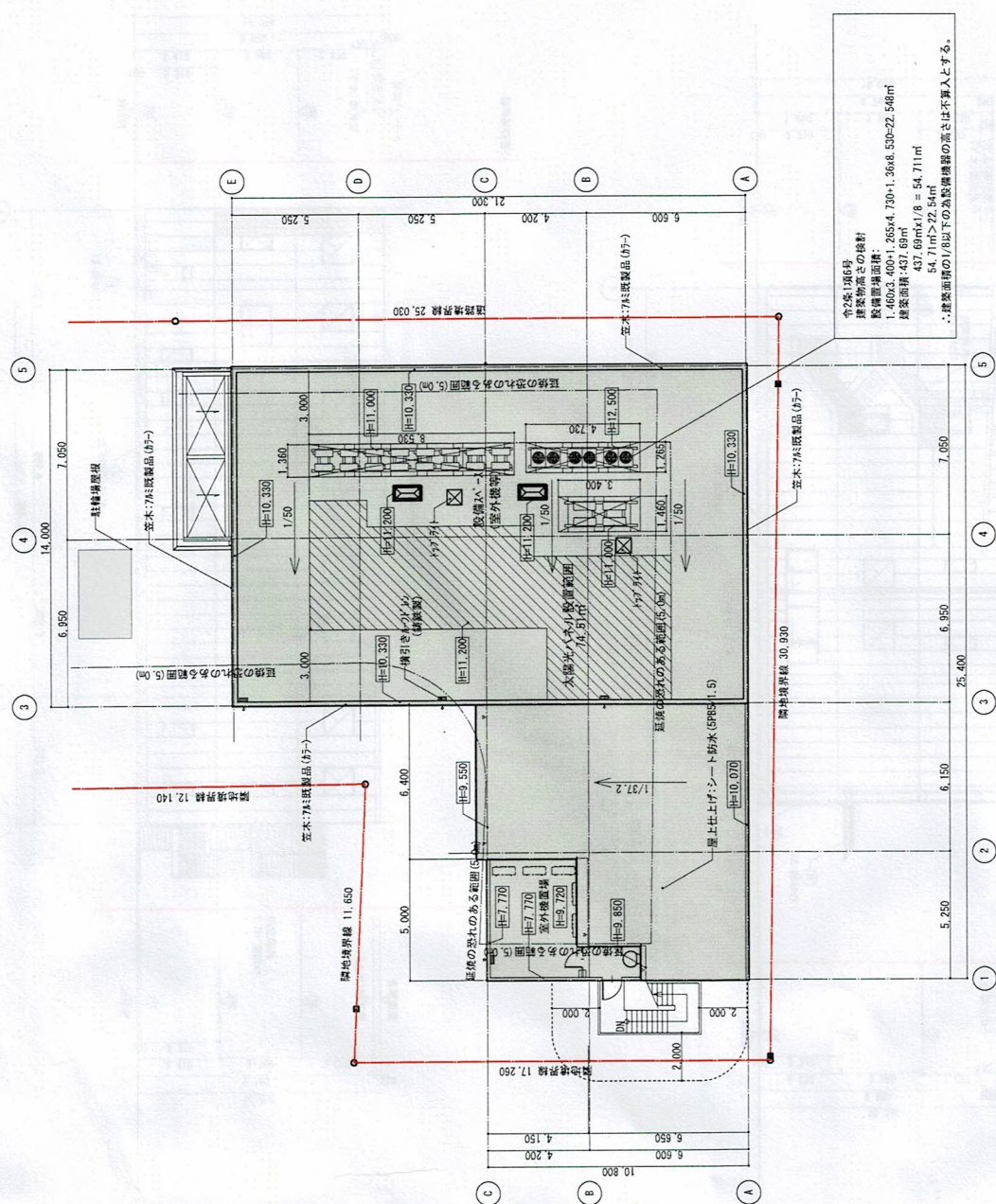


西側立面図 (A1 S=1:100, A3 S=1:200)



南側立面図 (A1 S=1:100, A3 S=1:200)

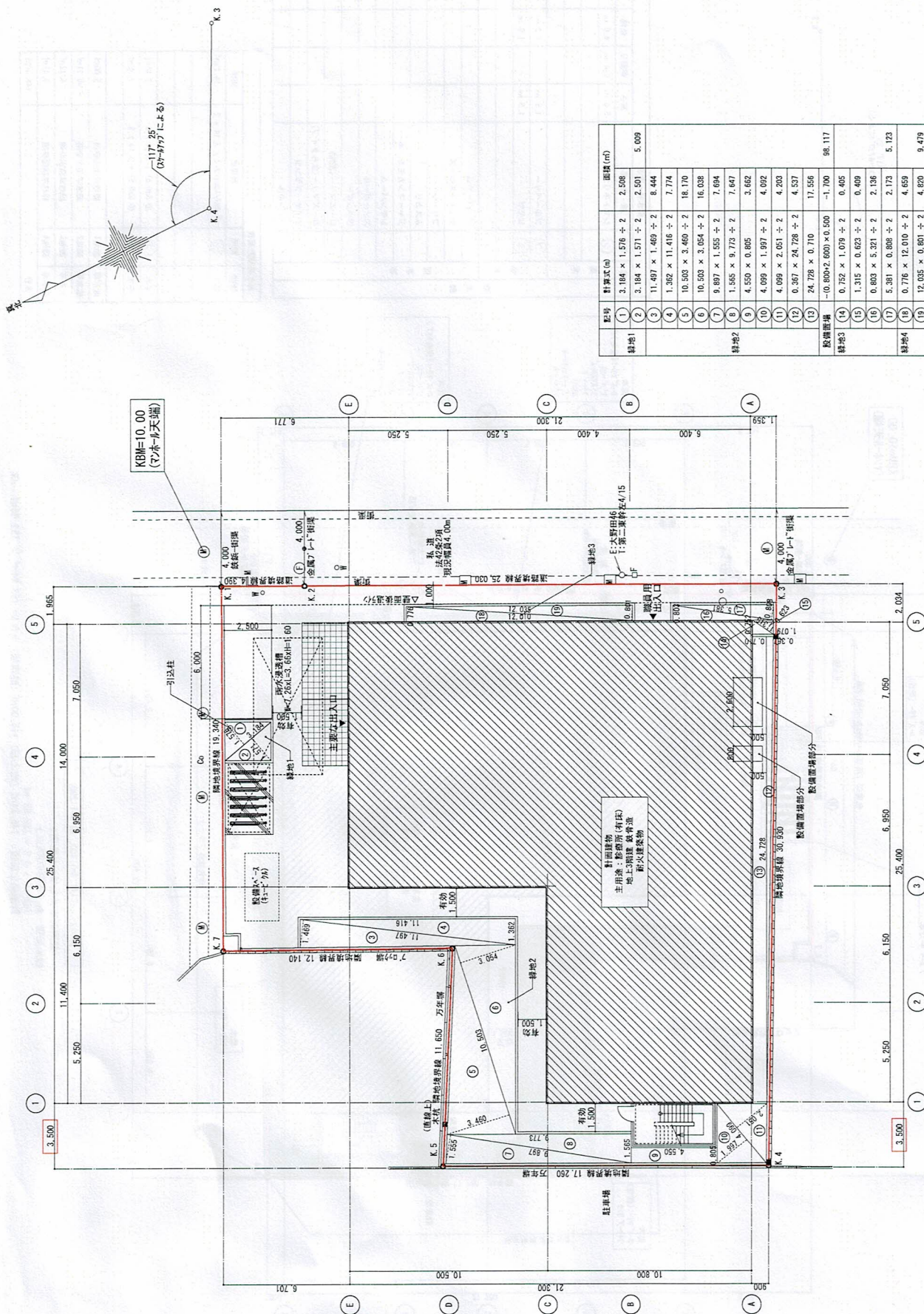
外 部 仕 上	
①	外壁 AL板 t=100(6ヶ所 補修工法)の上、 遮熱性塗装仕上
②	外壁 押出成型AL板 t=60の上、 遮熱性塗装仕上
③	外壁 子カツパツワツパツ t=12.5下地の 上、遮熱性塗装仕上
④	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
⑤	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) (遮熱塗料の工法)
⑥	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
⑦	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
⑧	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
⑨	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
⑩	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
⑪	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
⑫	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
⑬	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
⑭	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
⑮	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
⑯	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
⑰	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
⑱	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
⑲	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
⑳	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㉑	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㉒	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㉓	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㉔	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㉕	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㉖	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㉗	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㉘	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㉙	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㉚	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㉛	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㉜	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㉝	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㉞	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㉟	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㊱	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㊲	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㊳	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㊴	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㊵	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㊶	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㊷	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㊸	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㊹	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㊺	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㊻	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㊼	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㊽	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㊾	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上
㊿	外壁 遮熱塗料付 AL板 (木目調) 仕上



屋顶伏图(A1 S=1:100、A3 S=1:200)

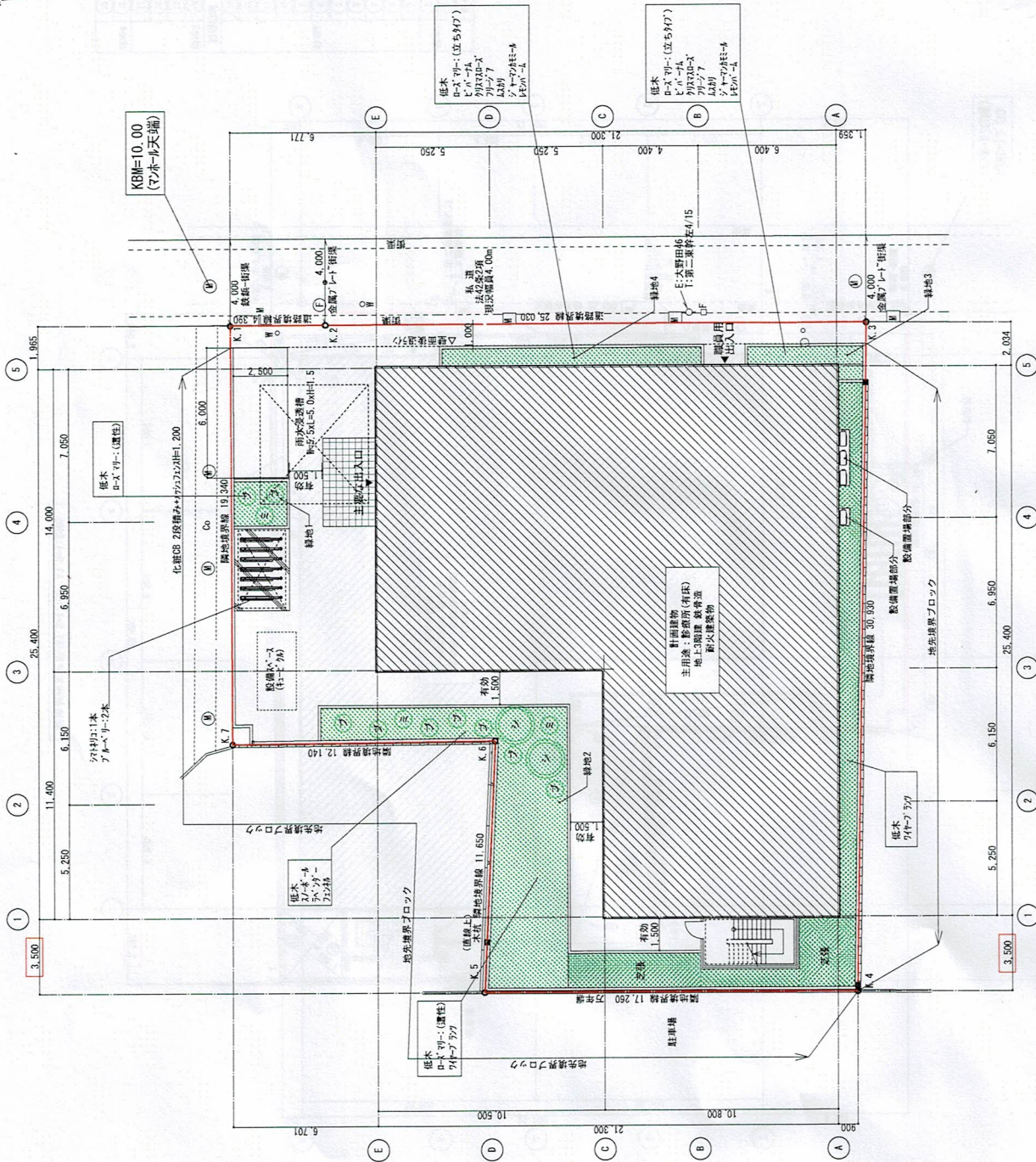
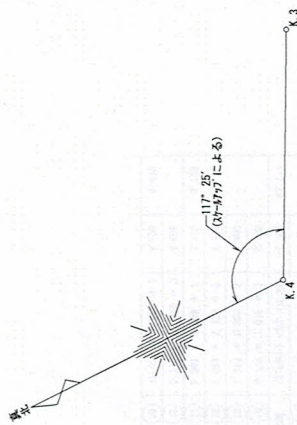


※現時点での完成イメージを示したものであり、今後変更が生じる可能性があります。



配号	計算式 (m)	面積 (m ²)
緑地1	① $3.164 \times 1.576 \div 2$	2.508
	② $3.164 \times 1.571 \div 2$	2.501
	③ $11.697 \times 1.469 \div 2$	8.444
	④ $1.362 \times 11.416 \div 2$	7.774
	⑤ $10.503 \times 3.460 \div 2$	18.170
	⑥ $10.503 \times 3.054 \div 2$	16.038
緑地2	⑦ $9.897 \times 1.555 \div 2$	7.694
	⑧ $1.565 \times 9.773 \div 2$	7.647
	⑨ 4.550×0.805	3.662
	⑩ $4.099 \times 1.997 \div 2$	4.092
	⑪ $4.099 \times 2.051 \div 2$	4.203
	⑫ $0.367 \times 24.728 \div 2$	4.537
	⑬ 24.728×0.710	17.556
設備用地	$-(0.800 \times 2.000) \times 0.500$	-1.700
緑地3	⑭ $0.752 \times 1.079 \div 2$	0.405
	⑮ $1.315 \times 0.623 \div 2$	0.409
	⑯ $0.803 \times 5.321 \div 2$	2.136
	⑰ $5.381 \times 0.808 \div 2$	2.173
緑地4	⑱ $0.776 \times 12.010 \div 2$	4.659
	⑲ $12.035 \times 0.801 \div 2$	4.820
		94.117

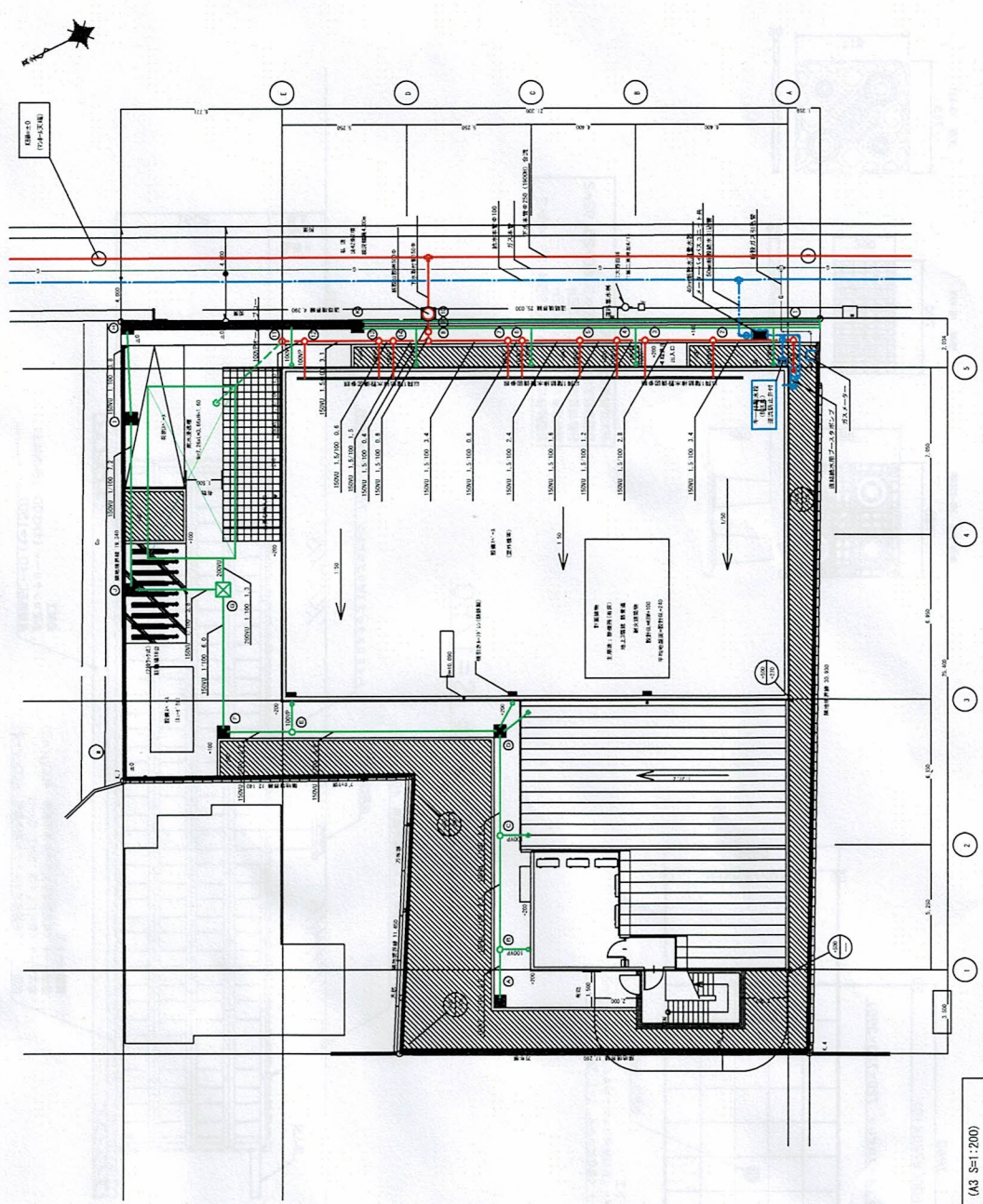
緑地面積算定図 (A1 S=1:100, A3 S=1:200)



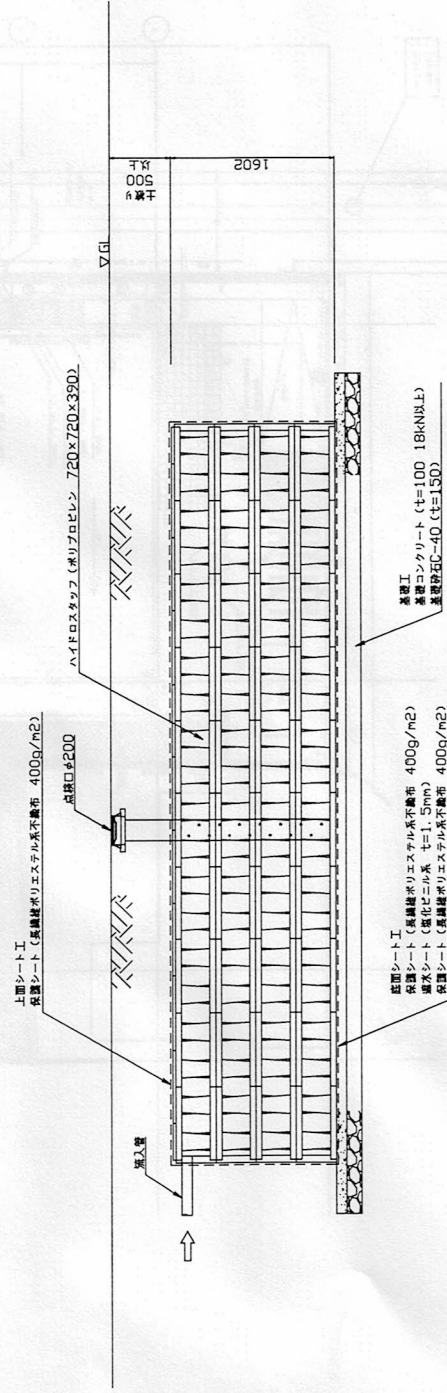
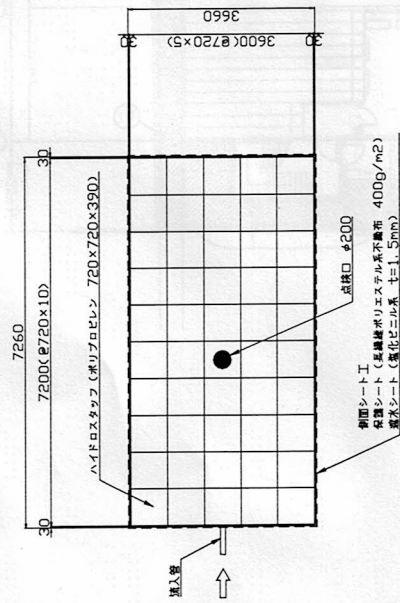
分類	記号	樹物名	高さ	幹回り	本数
高木	①	シマトネリコ	5.0 m	0.4 m	1 本
中木	②	ブルーベリー	1.5 m	1.0 m	0 本
中木	③	ミモザ	1.5 m	1.0 m	3 本
低木等	④	ピーターナム			
低木等	⑤	クリスマスローズ			
低木等	⑥	フリージア			
低木等	⑦	ムスカリ			
低木等	⑧	ジャーマンカモミール			
低木等	⑨	レモンバーム			
低木等	⑩	スノーボール			
低木等	⑪	ラベンダー			
低木等	⑫	ローズマリー(濃性)			
低木等	⑬	ローズマリー(立ちタイプ)			
低木等	⑭	ワイヤーブラント			
低木等	⑮	フェニケル			

種類	記号	計算式	面積
高木	①	(5.0x7.0x1/2)x3.14x2	19.23㎡
中木	②	(0.5x0.5)x3.14x9	7.06㎡
中木	③	(0.5x0.5)x3.14x3	2.35㎡
低木等	④	緑地求積同参照	5.00㎡
低木等	⑤	緑地求積同参照	98.11㎡
低木等	⑥	緑地求積同参照	5.12㎡
低木等	⑦	緑地求積同参照	9.47㎡
合計			146.34㎡

緑地計画図 (A1 S=1:100, A3 S=1:200)
「武蔵野市まちづくり条例」
緑地面積：敷地面積の20%以上
763.19 x 0.2 = 152.63 m²
計画緑地面積：146.34m² (地上部) + 15.00m² (駐車場) x 0.5 = 153.84m² > 152.63m² ...OK

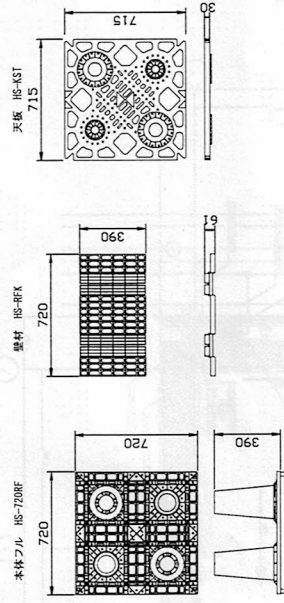


给排水平面图 (A3 S=1:200)

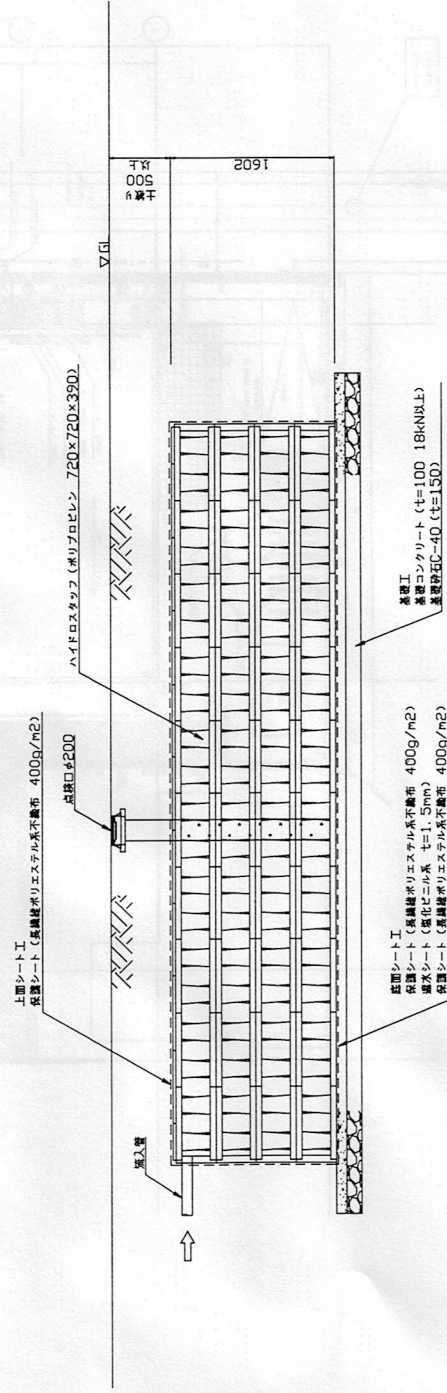
雨水貯留施設標準平面図 $S=1/100$ 

𠂔 𠂕 𠂖

ハイドロスタップ詳細図 $S=1/30$



雨水貯留施設計画書元
計画施設面積 $A=7.20 \times 3.60=25.92m^2$
計画施設高さ $H=1.602m$
有効貯留水深 $h=1.602m$
計画貯留容量 $V=A \times h \times 95\%=39.45m^3$

雨水貯留施設標準断面図 $S=1/50$ 

◇			名 称	雨水貯留槽構造図
◇	2023.03.08			
No.	日 付	履 歴		(仮称)武蔵野緑町1丁目計画 新築工事
図 番	城東リプロン株式会社			

雨水対策量の算定と雨水対策施設の設計

物件名:武蔵野緑町1丁目計画

計画地:東京都武蔵野市緑町1丁目某所

1. 雨水処理量の算定

雨水処理量の計算として「武蔵野市雨水浸透施設等設置技術指針」に基づいて計算を行う。

開発面積 $763.19 \text{ m}^2 = 0.0763 \text{ ha}$ 流域は第1処理区となるので必要対策量は $600 \text{ m}^3/\text{ha}$ となる。

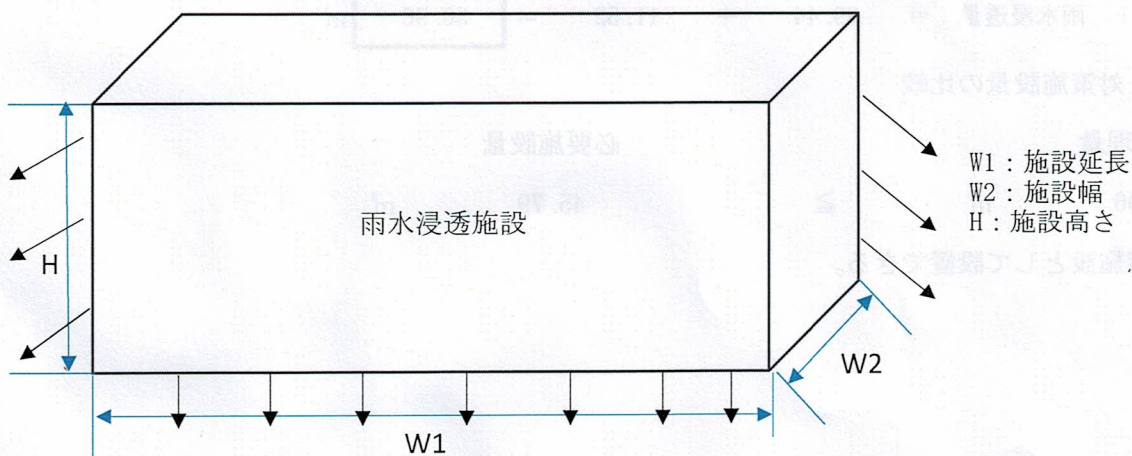
必要対策量Qの計算

$$Q = 0.0763 \times 600 = 45.79 \text{ m}^3$$

上記を超える対策施設を設計する。

2. 対策施設の設計

対策施設として城東リプロン(株)のハイドロスタッフ 浸透タイプ を計画する。

飽和透水係数は東京都関東ローム層を適用して $0.14 \text{ m}^3/\text{hr}$ とする。

(雨水浸透施設技術指針(案) 調査・計画編 P51～P53より)

「矩形ます、側面及び底面 延長 $\leq 200\text{m}$ 幅 $\leq 5\text{m}$ 」の比浸透量計算を準用する。設置施設の比浸透量: $K_f = aH + b$

W1: 施設延長 W2: 施設幅 H: 設計水頭(m)

係数	数式
a	$3.297 \times W1 + (1.971 \times W2 + 4.663)$
b	$(1.401 \times W2 + 0.684) \times W1 + (1.214 \times W2 - 0.834)$

施設規模

種類	呼称サイズ
雨水浸透槽	$7.2 \text{ m}(W1) \times 3.6 \text{ m}(W2) \times 1.602 \text{ m}(H)$
組合せ	10 行 $\times$ 5 列 $\times$ 4 段

雨水施設対策量計算

●雨水貯留量の計算

貯留量V＝施設延長×施設幅×施設高さ×空隙率(95%)

$$= 7.2(\text{m}) \times 3.6(\text{m}) \times 1.602(\text{m}) \times 0.95 = 39.44 \text{ m}^3$$

●雨水浸透量の計算

浸透量Q＝飽和透水係数K_o×比浸透量K_f×影響係数C₁×影響係数C₂

飽和透水係数K_o 0.14 m³/hr

影響係数C₁ 0.9 影響係数C₂ 0.9

比浸透量K_f＝a H×b

$$a = 3.297 \times 7.2 + (1.971 \times 3.6 + 4.663) = 35.497$$

$$b = (1.401 \times 3.6 + 0.684) \times 7.2 + (1.214 \times 3.6 - 0.834) = 44.775$$

$$K_f = 35.497 \times 1.602 + 44.775 = 101.641$$

$$\text{浸透量} Q = 0.14 \times 101.641 \times 0.9 \times 0.9 = 11.52 \text{ m}^3/\text{hr}$$

●施設対策量

雨水貯留量 + 雨水浸透量 = 39.44 + 11.52 = 50.96 m³

雨水処理量と対策施設量の比較

雨水処理量

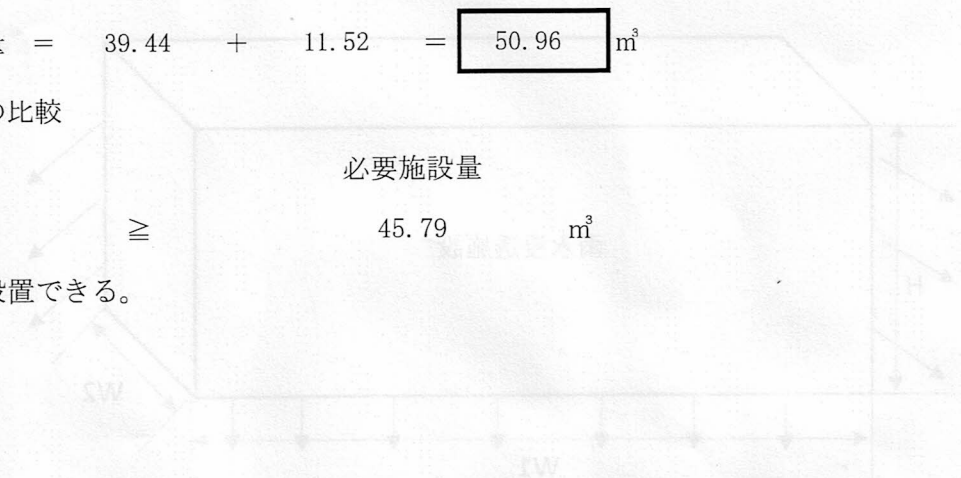
50.96 m³

≥

必要施設量

45.79 m³

上記より対策施設として設置できる。



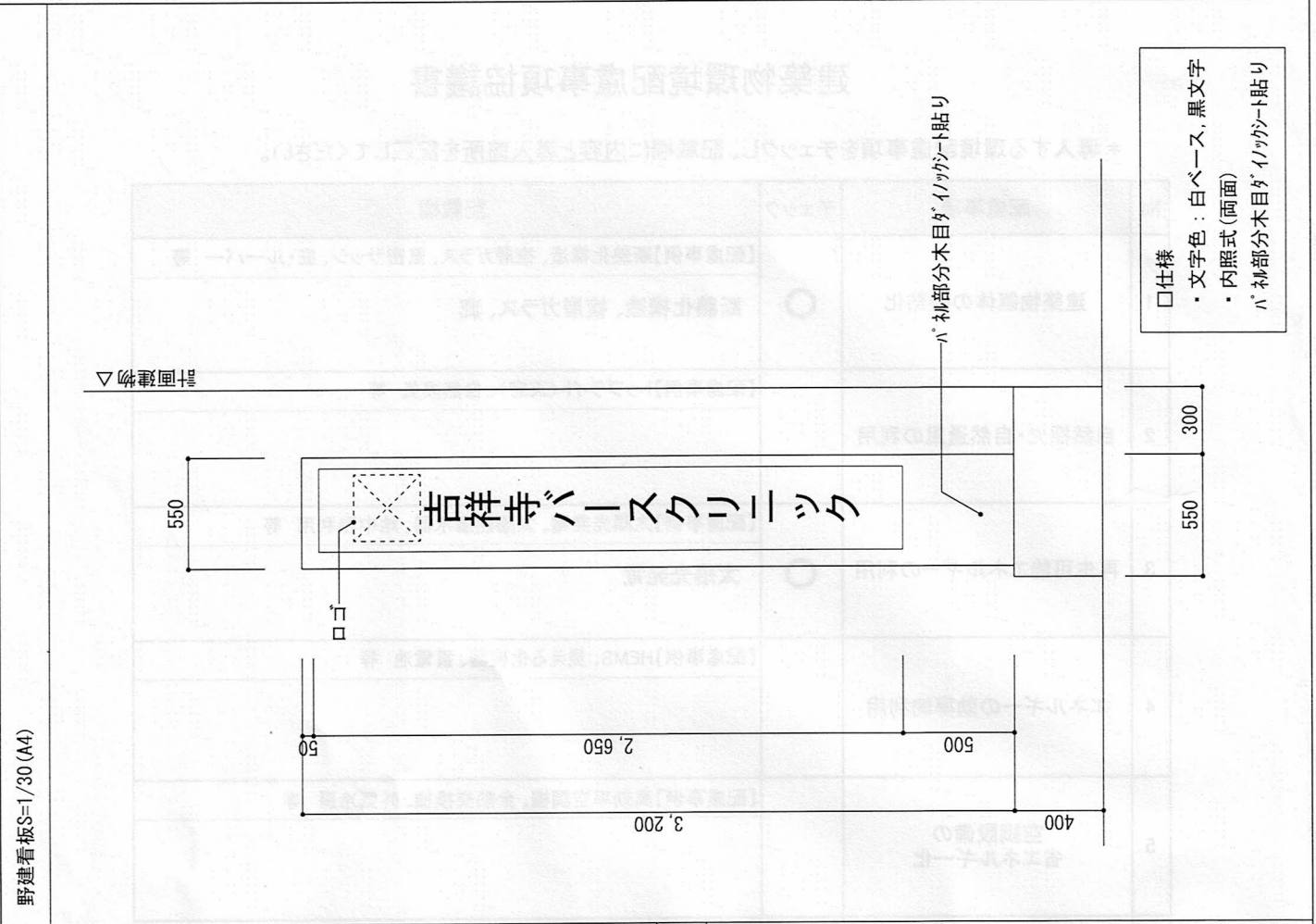
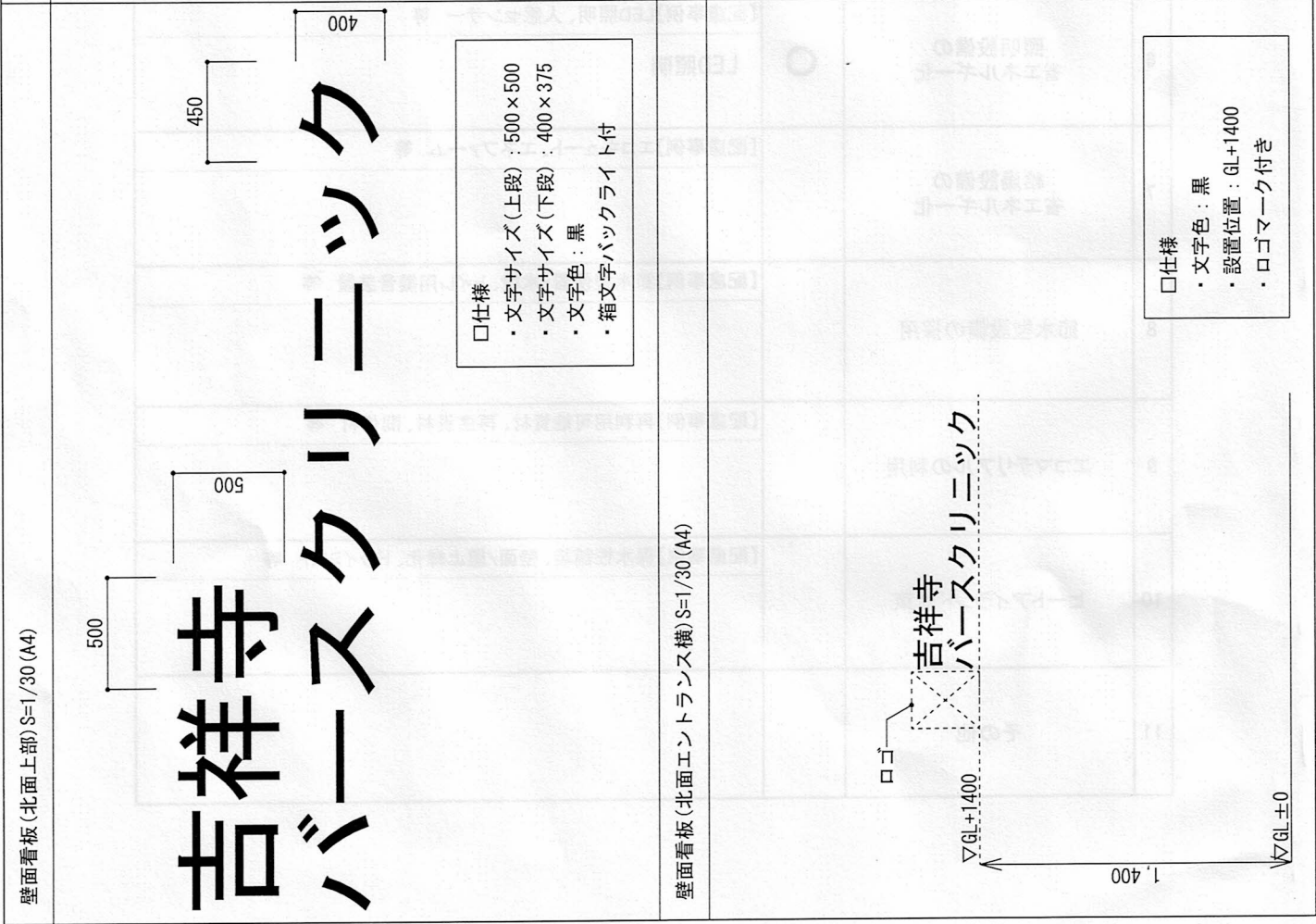
大径	小径
$(3.297 \times 7.2 + (1.971 \times 3.6 + 4.663)) \times 1.602 + 44.775$	1
$(1.401 \times 3.6 + 0.684) \times 7.2 + (1.214 \times 3.6 - 0.834) \times 1.602 + 44.775$	2

雨水貯留量	必要施設量
$7.2 \times 3.6 \times 1.602 \times 0.95 = 39.44$	45.79
11.52	45.79

建築物環境配慮事項協議書

* 導入する環境配慮事項をチェックし、記載欄に内容と導入箇所を記載してください。

No.	配慮事項	チェック	記載欄
1	建築物躯体の断熱化	○	【配慮事例】断熱化構造、複層ガラス、気密サッシ、庇・ルーバー 等 断熱化構造、複層ガラス、庇
2	自然採光・自然通風の利用		【配慮事例】トップライト(天窓)、自然換気 等
3	再生可能エネルギーの利用	○	【配慮事例】太陽光発電、太陽熱温水器、地中熱利用 等 太陽光発電
4	エネルギーの効率的利用		【配慮事例】HEMS、見える化機器、蓄電池 等
5	空調設備の省エネルギー化		【配慮事例】高効率空調機、全熱交換機、外気冷房 等
6	照明設備の省エネルギー化	○	【配慮事例】LED照明、人感センサー 等 LED照明
7	給湯設備の省エネルギー化		【配慮事例】エコキュート、エネファーム 等
8	節水型設備の採用		【配慮事例】節水型便器・水栓、トイレ用擬音装置 等
9	エコマテリアルの利用		【配慮事例】再利用可能資材、再生資材、間伐材 等
10	ヒートアイランド対策		【配慮事例】保水性舗装、壁面/屋上緑化、ドライミスト 等
11	その他		



※現時点での完成イメージを示したものであり、今後変更が生じる可能性があります。

